

学 会 名 :第 66 回全日本病院学会 in 北海道
会 期 :2025 年 10 月 11 日(土)～ 12 日(日)
展示会名称 :学会企画「AI・ロボット展」
展 示 会 場 :札幌市産業振興センター2F セミナールーム B
小 間 番 号 :4
プレゼンテーション日時 :10 月 11 日(土)13:45～14:00／10 月 12 日(日)10:45～10:55
プレゼンテーション会場 :札幌市産業振興センター2F セミナールーム C

ライフスタイルセンシングと遠隔医療モデルによる地域包括ケア DX

概要:

本展示では、家庭の電力データを用いたライフスタイルセンシング（LSS）と、病院やクリニックを中心とした遠隔医療モデル（オンライン診療・相談、(将来的には移動診療車・薬薬連携)）の統合事例を紹介します。これにより、住民の生活リズムや体調変化を早期に把握し、へき地や過疎地域でも安定した医療提供が可能になる。また、LSS とライフスタイルサポーター（住民、看護師など）による地域支援を組み合わせることで、医療費抑制・健康寿命延伸・地域の持続可能性を実現する新しい「地域包括ケア DX」の未来像を提示する。

製品/サービス概要

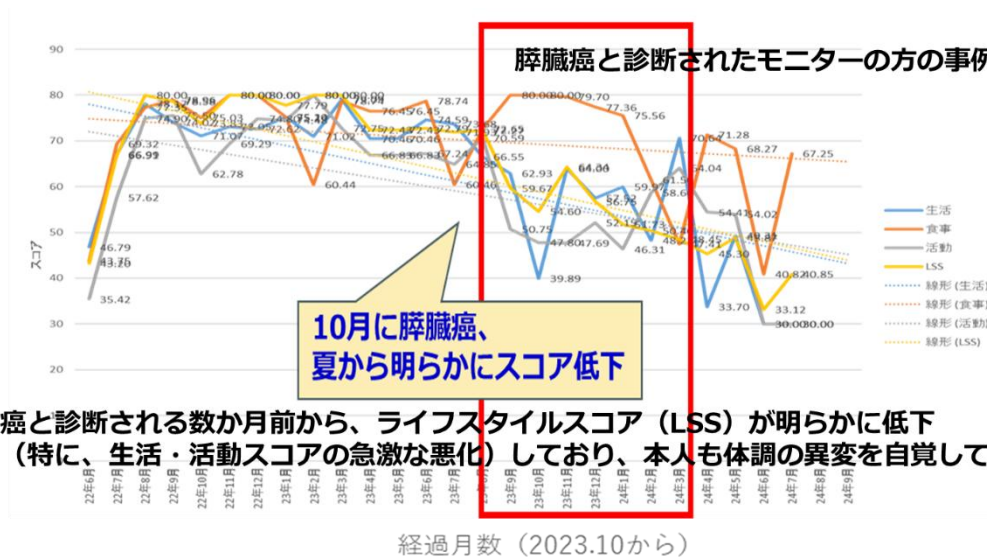
ライフスタイルセンシング（LSS）

- 電力センサ等を用いて、住民の日常生活リズムを**非接触・非侵襲で常時センシング**。
- データは 1 分単位で収集され、**生活・活動・食事**などライフスタイルの微細な変化を可視化。

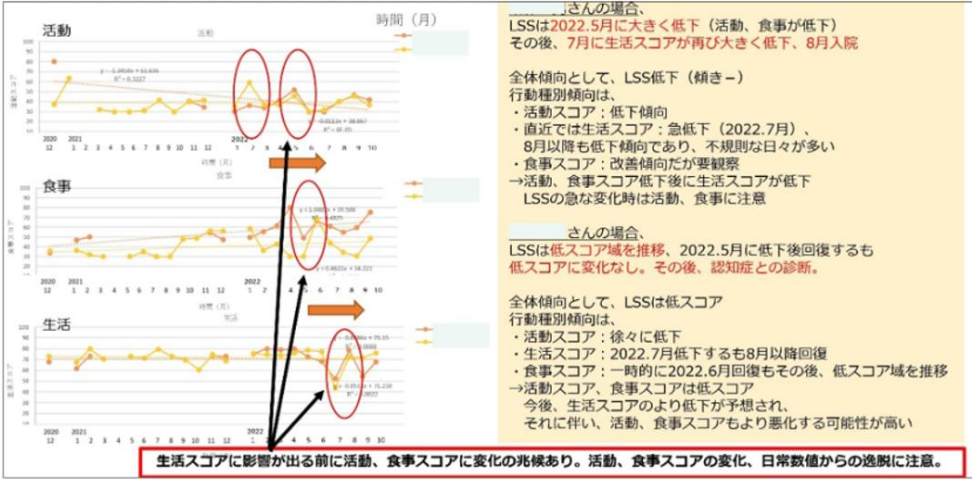
アプリ：ienowa およびライフスタイル ME+



- 生活変化や体調リスクを早期に把握し、医療・介護・地域支援へつなげる仕組みを提供



データ事例① 生活スコア変動に先行する活動・食事・生活スコアの変化—早期兆候把握の重要性

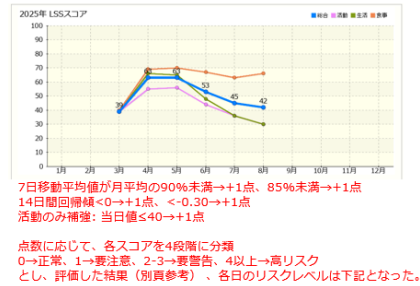


結果の要点

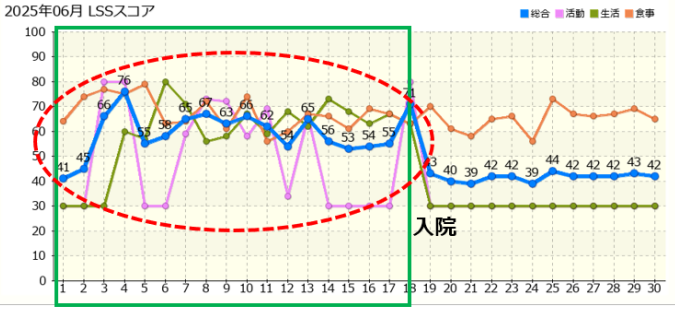
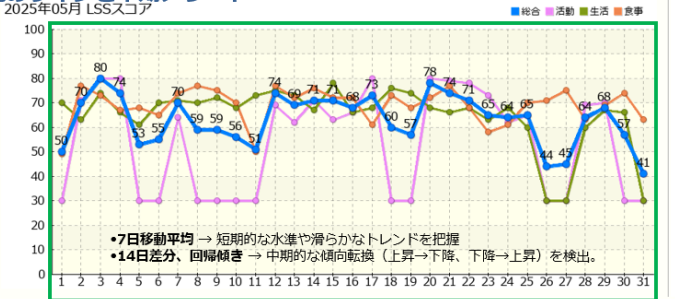
・活動・食事スコアは生活スコアに先行する指標
⇒生活スコアに変化が出る前に、活動・食事スコアに注意を払うことが重要

・日常スコアからの逸脱が体調変化の予兆となる可能性
・複数スコアの連続的評価により、早期介入タイミングを明確化できる
⇒マルチスコア解析は早期予兆検出に有効であり、日常生活支援や未病段階での介入戦略に応用可能

データ事例② 日常データで気づく体調変化のサインと早期アラート



要注意（レベル1）	要警告（レベル2）	高リスク（レベル3以上）
2025-05-03	2025-05-02	2025-05-01
2025-05-06	2025-05-05	2025-05-31
2025-05-08	2025-05-26	2025-06-01
2025-05-09	2025-05-27	2025-06-02
2025-05-10	2025-05-30	2025-06-05
2025-05-11	2025-06-03	6月上旬から中旬は レベル2、3の日 が多く、リスク度 は高かった。
2025-05-15	2025-06-04	
2025-05-18	2025-06-06	
2025-05-19	2025-06-15	
2025-05-25	2025-06-16	
2025-05-28	2025-06-17	
2025-05-29		
2025-06-12		
2025-06-14		

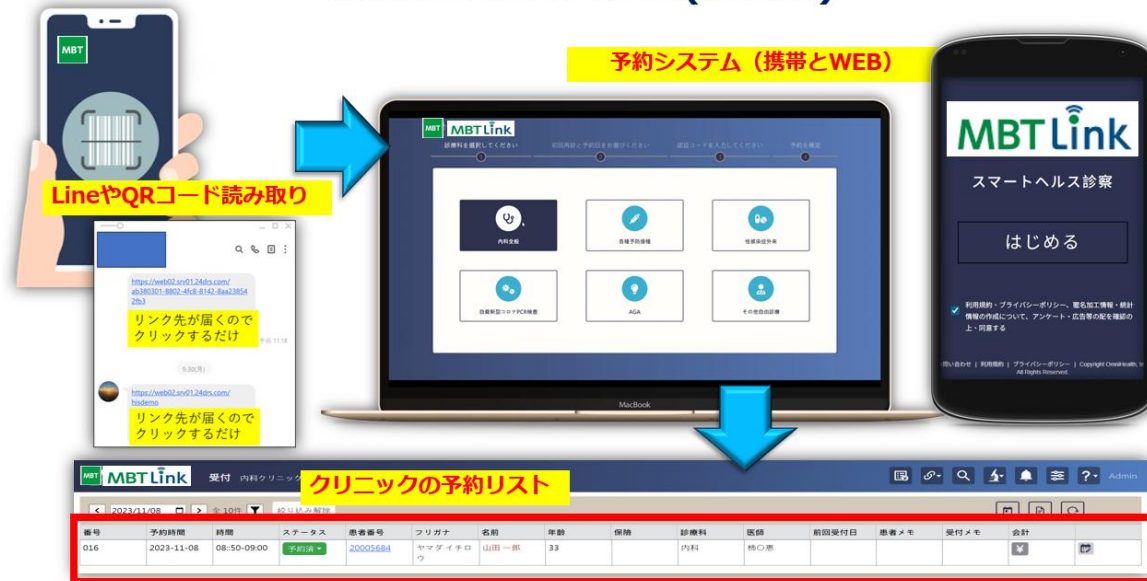


遠隔医療モデル

(MBTL E-Clinic) 参考ファイル) MBTL_telemedicine_v1

- オンライン診療・移動診療車・薬薬連携を組み合わせ、医療資源の乏しい地域にもきめ細かな診療体制を実現。
- 国内では、那須赤十字病院での検討例など触れ、高齢化率 50%前後の地域における移動困難な患者への安定した医療提供について説明する。

外来の予約システム(患者端)



今後

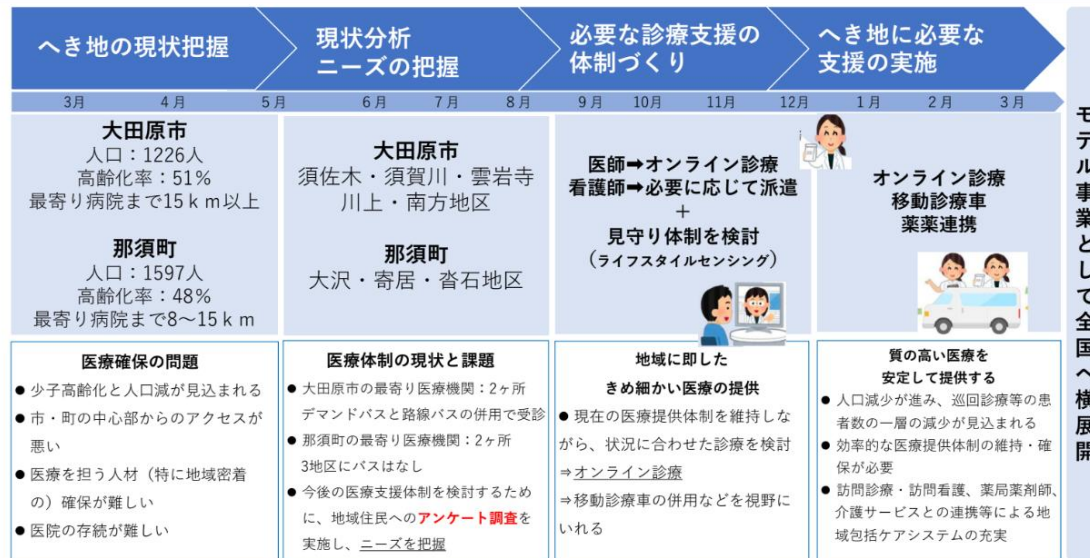
医療に加え、介護システムとの統合を進め、**地域包括ケア DX の基盤**の形成を目指す。

特性

- 医療費抑制・住民ウェルビーイング向上・地域持続性強化を同時に実現。
- 病院を地域ハブとして「治す医療」から「支えるまち」へのシフトを可能にする
- ライフスタイルセンシングによる、安心して暮らせる未来を提供

へき地拠点病院 那須赤十字病院によるモデル事業(概要)

2025.7.23



製品写真

1. 電力センサ設置写真



ライフスタイルセンシング映像

https://www.youtube.com/watch?v=CT_7ku3MVOc

